

WBC : Washoku BioGenome Consortium

和

色



和色バイオゲノムコンソーシアム

日本の風土・文化と繋がりのある生物種のゲノムを和色(Washoku)ゲノムと銘打ち、和色ゲノムの充実を目指して有志で立ち上げたコンソーシアムです。ご賛同いただける方のご参加をお待ちしております。

DNA解析の進歩は凄まじく、ここ30年で生物学の教科書を大きく書き換えた。なかでも全ゲノムDNA配列情報(以下、「ゲノム情報」と略す)の読み取りの対象は、大腸菌や酵母からヒトや伝統的な実験動物へ、そして野外の多様な生物へとひろがっている。すべての現存の生物種は、同じ時間をかけて進化し生き抜いてきた、それぞれが固有の存在である。ゲノム情報は、生命現象の設計図であるとともに、生物種や個体の来歴の情報を蓄えた、いわば「ログ」であり、生物種が絶滅してしまえば消えてしまう、貴重な進化の所産でもある。言い換えると、ゲノムには、その生物種「らしさ」を決めている、その生物種の「いま」を映し未来の盛衰を予測するための遺伝情報が含まれている。その情報を読み取って有機的に利用するためには、DNAシーケンサだけではなく、実験室での細かなDNA分子の扱いから、コンピュータでの情報解析まで、多様で洗練されたノウハウが欠かせない。

Washoku BioGenome Consortium (WBC)は、この日本でこそ手を打たなければいけない生物種に照準を絞り、ゲノム情報の読み取りを先制的に推進する。Washokuとは「和色」を意味し、本コンソーシアムではわが国日本の里・山・海の恵みや我々日本人の古来からの暮らしを象徴するような、食卓を彩る生物や有用な形質をもつ生物、そして、存続が危ぶまれる生物種に注目する。

とくに、食用生物については、不作や不漁といった事態に備えたエビデンスに基づく供給体制のアシストをめざす。必要と気づいてからでは遅いゲノム情報の読み取りには、これまで競争が付きものであったが、ノウハウの醸成と伝承にこだわり、組織や分野を超えた協働によってこれを実現する。



Revio はじまっています。

この最先端テクノロジーは、従来の Sequel II システムと比較して

15倍 の出力の高精度ロングリードが得られます。

ゲノムの de novo Assembly をより気軽に実施できる時代に！

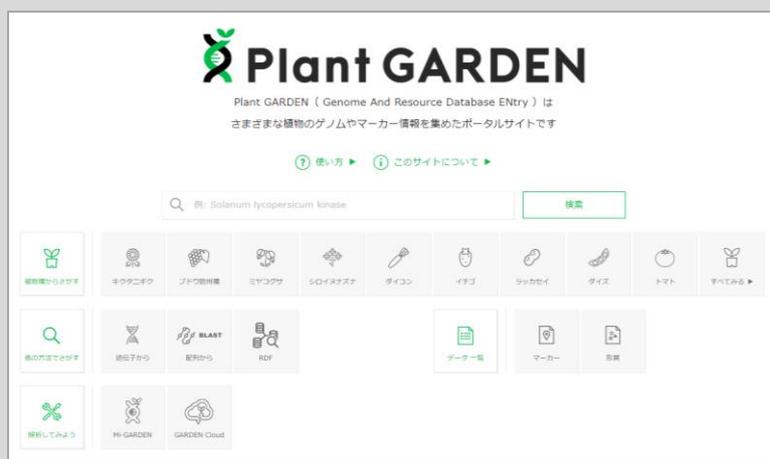
- かずさ DNA 研究所・DNA解析センターでも受託分析を承っています -

アセンブル配列が得られたら、ぜひPlant GARDENへのご登録をご検討ください！

Plant GARDEN



さまざまな植物のゲノムやマーカー情報を集めたポータルサイトです



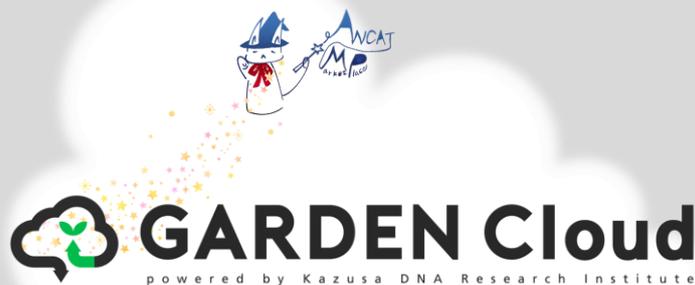
コンテンツ	種数	データ数
ゲノム	246	304
遺伝子	162	11,331,614
gVCF ファイル	106	5,981
DNAマーカー	102	509,258
連鎖地図	32	137
QTL	28	8,255

さらに！ Plant GARDENに格納したゲノム配列情報と連携した SNP/RNA-Seq 解析ツールも開発しました

お手持ちのPC/Dockerで解析



Cloud上で簡単・迅速に解析



※ RNA-Seq解析は未実装です

詳しい情報は展示ブースにて！お待ちしております。

公益財団法人 かずさDNA研究所